



64チームの頂点を目指して熱戦を繰り広げる選手たち  
(アラグランデー筑摩野)

# 64チーム懸命にプレー

## タイムス少年サッカー開幕

8強決まる

第二十回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップ(市民タイムス、松本市サッカー協会、松本市サッカー協会主催、カガミグループ協賛)が十三日、松本市の松本平広城公園総合球技場・アルウィンで開幕した。松本、塩尻両市内と山形村内の六会場でトーナメントの1-3回戦56試合を

行い、広丘、豊科南、鎌田、堀金の中信勢4チームのほか、永明(茅野市)、裾花(長野市)、リユシオ辰野(上伊那郡辰野町)、トップストーン(上伊那郡宮田村)が8強入りを決めた。

中信地方のほか、県内各地から小学五年生以下で構成する64チームが参加した。六年生が抜けて

五年生が主体となった直後の試合で、選手たちは懸命にボールを追いかけた。大会長の新保力市民タイムス社長は「長い間通ったり力強いシュートが放たれたりするたびに、コート周辺に陣取り、練習してきた成果を発揮して新人らしく元気にプレーし、大会で多くのことを学んでほしい」とあ

た保護者などから声援や拍手が送られていた。

試合に先立ってアルウィンで開会式が行われ、参加チームは松本蟻ヶ崎が「最後まで走りきり元

気良くプレーするようことを誓います」と宣誓した。

準々決勝以降の試合と今大会から設けられたフレンドリーマッチは二十日午前九時から、アルウィンと隣接の芝生グラウンドで行われる。フレンドリーマッチは準々決勝で敗退したチームが出場する。決勝戦は午後一時半にキックオフを迎える。【関連記事14面に】